

各務原にんじん 魅力`深掘り、



各務原にんじんの収穫を体験する量販店の販売担当者や
バイヤーら＝各務原市鵜沼羽場町内

J A 販売者向けに収穫体験会

J A全農岐阜は12日、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で交流が行えず、新たな販売先を開拓できないで困っている各務原市の農家を助けようと、量販店の販売担当者向けに同市特産の各務原にんじんの特徴を知ってもらう収穫体験を初めて実施した。

各務原にんじんは春夏と秋冬の年2回生産を行う国内でも数少ない二期作のニンジン。2017年には各務原にんじんの出荷体制を強化しようと、J Aぎふが同市鵜沼羽場町に各務原にんじん選果場を建設した。収穫体験にはイオンリテール東海カンパニーやマックスバリュ東海の販売担当者やバイヤーら約15人が参加。選果場の見学や、J Aぎふ東部営農経済センターの丹羽朋成所長による講義

並みの出来のニンジンが育ったという。同カンパニー食品部の中野直浩さんは「農家の苦労を知ることによって、側面も大切に売ろうと思える。いい経験になった」と話した。

(村井樹)